

9:30 ▶ 9:35

開会のご挨拶 K-0 センチュリールーム 一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会

9:35 ▶ 10:25

基調講演 K-1 センチュリールーム



株式会社アシックス
執行役員CIO兼CDO
大島 啓文 氏

グローバル成長を支えるデジタル戦略と体験価値共創

アシックスのIT・デジタル部門が、経営戦略であるグローバル成長、ブランド体験価値向上、オペレーショナルエクセレンスをいかにIT・デジタル戦略に落とし込んで推進しているか、その取り組みについてデータとAIの活用、お客様サービスの高度化、人材育成にも触れながらご紹介いたします。

11:45 ▶ 12:35

基調講演 K-3 センチュリールーム



国立情報学研究所
教授
佐藤 一郎 氏

共創が導くAI活用の進化とAIの次なるフロンティア
～AIをコストから資産に変え、企業価値を高めるAIの活用と新技術～

企業において生成AIを中心としたAI活用は急速に広がっています。一方で、その多くは局所的な効率化にとどまり、結果として組織全体の生産性をむしろ低下させているケースも少なくありません。本講演では、生成AIを中心に、企業におけるAI活用の現状と課題を整理した上で、AIを単なる効率化手段にとどめず、企業の競争力を高める「資産」へと転換する方策を提示します。あわせて、最新の活用事例を踏まえ、今後の企業におけるAI活用の方向性を展望します。

12:55 ▶ 13:40

ランチョンセッション 松花堂弁当つき

AI活用は“導入”から“運用”へ
～エンタープライズAI時代に求められる新たなリスク対策～ L-1

会場 ① クリスタルルーム

生成AIのビジネス活用が本格化する一方で、機密情報漏洩やプロンプトインジェクションなど、新たなリスクへの対応が求められています。本セッションでは、企業におけるAI活用の最新動向と課題を整理し、次世代の「AIセキュリティ」が不可欠となる理由を解説。その上で、安全な共創環境を実現するための「AIガードレール」の構築や「AIレッドチーム」による疑似攻撃演習などの実践的なアプローチをご紹介します。



F5ネットワークスジャパン合同会社
折原 直美 氏

AIと従業員のIT体験(DEX)によるIT運用変革～感情・経験の満足度向上(XLA)が創る次世代IT戦略～ L-2

会場 ② 平 安

DXや働き方改革が進む中、IT部門には「システムを維持する」だけでなく、従業員体験を継続的に向上させる役割が求められています。本セッションでは、従業員のIT体験(DEX)や感情・経験の満足度向上(XLA)をベースに、生成AIを活用した新しいITサービスの在り方について、事例やデモ(AIエージェント Nextthink Sparkによる問題解決など)を交えながらご紹介いたします。



Nextthink 合同会社
福崎 一郎 氏

AIがコードを書く時代、あなたは何を保証するのか?～生成AI時代に問われる品質保証の新しい役割～ L-3

会場 ③ 白 風

AIが生成するコードや成果物～あなたはその品質やリスクを本当に説明できますか?いま、生成AIは説得力のある“答え”を次々と生み出します。しかし、その裏に潜む“見えないリスク”や品質の落とし穴を見抜き、納得のいく説明責任を果たせるのは、最終的に“人”です。本セッションでは、テスト・プロセス・組織の観点からAI時代の品質保証を再定義し、実際の品質改善事例を交えながら、人とAIの最適な役割分担を考えます。



バルテス・ホールディングス株式会社
石原 一宏 氏



バルテス株式会社
中村 俊博 氏

経営を支えるAI時代のIT戦略～価値創出と基盤強化をどう両立させるか?～ L-4

会場 ④ 天 平

生成AI・AIエージェントが顧客価値創出や組織変革、AI×人の共創を加速させる一方、新たなサイバーリスクへの対応に頭を悩ませていませんか?本セッションでは、攻めのAI活用による事業価値創出と守りのAI活用による経営基盤強化を両立するAIガバナンスと柔軟なAIプラットフォーム戦略に着目。単なる理想論に終わらせず、現場で一歩を踏み出すための実践的な指針を提示します。



Ridgelinez 株式会社
伊藤 清隆 氏

なぜDXしても“確認作業”は減らないのか
～AI時代の業務・統制改革～ L-5

会場 ⑤ 桃山A

DXやAI導入が進んでも、確認・承認業務は増え続けています。本セッションでは「後追い確認管理」の限界を明らかにします。リアルタイムデータとAIによる自動検査・制御により、内部統制と業務オペレーションを同時に高度化し、効率化とリスク低減を両立することで、持続的成長や価値創造へのアプローチへつなげるアプローチを提示します。



Miletos 株式会社
高橋 康文 氏

人中心からAI中心へ
～AIエージェント前提の業務とガバナンス L-6

会場 ⑥ 桃山B

業務の主役は、人からAIへ。AIの組織的活用が大きな経営課題とされるなか、生成AIは“ツール”の時代を終え、業務を担う“AIエージェント”へと進化しつつあります。海外では実装が動き始める一方、PoC止まりやシャドーAIなど統制不在のリスクも浮上。本セッションでは、海外先行事例を交えながら、AIと共に働く時代の業務とガバナンスの設計についてお話しします。



ServiceNow Japan 合同会社
作田 浩樹 氏

13:55 ▶ 14:45

特別講演 K-4 センチュリールーム



パナソニック デジタル株式会社
インフラセキュリティ担当
インフラプラットフォーム
統括部 統括部長
横須賀 武士 氏



パナソニック デジタル株式会社
インフラ・セキュリティ担当
戦略マネジメント部
部長
川嶋 純一 氏



ヴィーム・ソフトウェア株式会社
システムエンジニアリング本部
セキュリティソリューション
アーキテクト
熊澤 崇全 氏

15:05 ▶ 16:05

フォーラムセッション

生成AI活用のリアルと挑戦～現場の業務変革の活用事例 F-1

会場 ① クリスタルルーム

生成AIの活用は、現在各社の喫緊の課題になっています。本セッションでは、生成AIを業務に導入し、現場の変革に挑む企業の具体的な活用事例を紹介します。オフィス業務の効率化やデータ分析による成果といった「攻めの活用法」から、社内での人材育成、独自のデータ基盤構築、そしてコスト管理やセキュリティ・ガバナンスの壁といった「守りの対策」まで、今後の展開に向けたリアルな知見をお届けします。



進行役：
株式会社IHJ
松永 稔雄 氏



進行役：
野村ホールディングス株式会社
安中 工 氏

JUAS クローズアップセッション

教科書通りにいかない「AI-Ready」の現実 X-1

会場 ② 平 安

JUAS 研究プロジェクト 「AI-readyに向けた役割・スキル定義」活動内容をご報告いたします



モデレーター：
一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
島 健夫

スクエア事例セッション

AI時代の製造業DX
～AGCの挑戦と現在地～ S-1

会場 ③ 白 風

生成AIの登場により、企業のDXは新たな局面を迎えています。AGCでは2015年以降、製造現場から研究開発、間接業務に至るまで全社的にDXを推進し、現在は価値創造フェーズへと進化してきました。本講演では、その取り組みの変遷を踏まえ、データ活用や生成AIによる業務変革の実践に加え、それらを支えるデジタル人材育成や組織横断の仕組みについても具体的に紹介します。



講演者：
AGC株式会社
等々力 宏 氏



モデレーター：
JUAS 製造業DX推進
アブロード研究会
株式会社IHJ
番場 汐美 氏

JUAS クローズアップセッション

問いと意思決定のエクスペリエンス
～デジタルと共創する人間の果たすべき役割～ X-2

会場 ④ 天 平

デジタルと人との共創の中で、人にしか為し得ない役割とはいったい何でしょうか?「人間中心の立場から見たデータ(デジタル)によるエクスペリエンス」を8年間探求し続けてきたJUASデータエクスペリエンス研究会の結論は、「[問い]の創造」と「[意思決定]」の実行です。本セッションでは、参加者の皆さんに「[問い]」の創造と「意思決定」の実行を体験(エクスペリエンス)していただきます。



株式会社
NTTデータ パリビュー・エンジニア
海老原 吉晶 氏



株式会社
クレディセゾン
竹内 亮介 氏



JUAS
データエクスペリエンス研究会
角田 仁 氏



株式会社
証券保管振替機構
小平 すみ子 氏

JUAS クローズアップセッション

AI時代に求められるリーダーとは～IMCJ卒業生と考える次世代リーダー像 X-3

会場 ⑤ 桃山A

デジタル教育推進機構/デジタル人材育成学会
角田 仁 氏

サントリーシステムテクノロジーズ株式会社
遠藤 康一 氏

日本ベイントコーポレートソリューションズ株式会社
丸山 一直 氏

フォーラムセッション

AI時代にこそ求められる人材像と育成、評価 F-2

会場 ⑥ 桃山B

AI時代にこそ求められる人材とは、AIと共に人間にしかできない領域で価値を発揮する人ではないでしょうか。そうした人材をどう育成、評価、採用していくべきか。各社のリアルな現状と第一歩を歩み始めている、そして道筋にある具体的な事例を中心に皆様と議論してまいりましょう!



進行役：
ハマゴムエイコム株式会社
橋野 光 氏



進行役：
明治安田システム・テクノロジー株式会社
梅本 竜弘 氏



進行役：
コニカミノルタ情報システム株式会社
浅田 敦 氏

16:20▶17:05 コンサルティングセッション

モダン化～AIネイティブ環境と高水準 QCD を両立するアプローチ～
会場 ① クリスタルルーム

現代の AI は、インターネット上に学習データが少ないレガシー言語を苦手としており、精度の低さが老朽システムの解析や活用の障壁となっています。また、保守切れ対応による形式的な Java 化が、かえって AI 活用の足かせとなる例も少なくありません。本講演では、東証トップ 200 企業中 60 社以上の事例に基づき、高水準な QCD で AI ネイティブ環境を構築し、業務改善へ導く手法を紹介。成功するモダン化セッションの要諦を解説します。



株式会社ソフトロード
大橋 順二 氏

成果を出せる AI と出せない AI を隔てる 3 つの構造的課題
会場 ② 平 安

AI 技術は飛躍的に進化し、精度や性能はもはや AI 活用の拡大を阻む障壁ではありません。ではなぜ、多くの企業で AI の業務活用が進まないのでしょうか。本セッションでは、成果創出の鍵となる①現場主導の活用促進【人】、②最適技術の柔軟な選択と連携【オーケストレーション】、③ AI の信頼性を担保する仕組み【ガバナンス】の 3 点を軸に、実践に向けたポイントを解説します。



Dataiku Japan 株式会社
佐藤 豊 氏



Dataiku Japan 株式会社
松島 七衣 氏

端末の死角が、経営を揺るがす ～デバイスデータ × AI で再定義する経営インフラ～
会場 ③ 白 風

守っているつもりが、守れていない。なぜこの構造が生まれるのか？「導入済みの EDR が実は動いていない」―実データが示すこの現実が経営の盲点です。IT とセキュリティ部門が別の論理で動き、誰も端末の実態を把握できません。AI が業務データを横断分析するように、デバイス情報を AI のデータソースにする発想が構造問題を解きます。デバイスの可視性を経営インフラと捉え直し、攻守を同時に動かす組織への転換を論じます。



タニウム合同会社
阿部 俊 氏

経営と現場をつなぐ全社知識活用と AI 活用～推進の実践知と今後の展望～
会場 ④ 天 平

AI 活用が広がり、ツール利用が定着し始める一方で、アウトカムにつなげられている企業はまだ多くありません。本講演では、アシストが 2020 年以降、社内の知識活用と AI 活用を進める中で直面した壁や試行錯誤、定着に向けた工夫を、ベンダーではなくユーザーとしての立場から率直に共有します。Glean の社内実践を通じて見てきた、全社推進の体制づくりと実行の勘所、そして今後の展望をご紹介します。



株式会社アシスト
佐子 雅之 氏



株式会社アシスト AI テラス
松山 晋ノ助 氏

サイバー攻撃対策と運用コスト削減を実践！クラウド時代の特権 ID 管理
会場 ⑤ 桃山 A

特権 ID 管理 (PAM) は、導入後の維持運用が負担になりやすく、サイバー攻撃の脅威を考えるとクラウドサービスまで管理対象を拡大することが急務です。本講演では、既存 PAM 製品の過度な作り込みによる技術負債や保守コストの課題に対し、新たなソリューション (Secret Server) を用いることで、モダンな環境へ対応し、運用の標準化とコスト削減を叶えた、実践事例を紹介し



帝人株式会社
中村 芳晃 氏



株式会社アイ・アイ・エム
田口 学 氏

AI エージェントで進化する“動き続ける”顧客・従業員体験を支える新しい成功のカタチ
会場 ⑥ 桃山 B

環境激変や人手不足の中、企業の競争力は人間と AI エージェントが新たなチームとして「共に働く」時代へと変化しています。ビジネスの深い文脈を理解し自律的に動く AI エージェントが、顧客体験の限界、従業員体験の疲弊、部門間の分断といったこれまでの壁をいかにブレイクスルーし、再定義するのか。人と AI が共に働く世界へと進化するための、信頼のプラットフォームをご紹介します。



株式会社セールスフォース・ジャパン
田崎 純一郎 氏

17:25▶18:25 フォーラムセッション

「使う AI」から「成果を出す AI」を目指して～AI-Readyに向けたIT部門の挑戦
会場 ① クリスタルルーム

「あたりまえ」になりつつある AI 活用。単なる便利なツールにとどまらず、成果を出すことが、今問われています。そのために必要なのは、「AI-Ready」な状態をどう作るか。データ整備、セキュリティやガバナンス、教育など、一朝一夕にはいかない課題が数多く存在します。本セッションでは、同じ課題に直面する企業の取り組みを通して、「AI-Ready な企業」へアップデートするための一歩を探っていきます。



進行役：大日本印刷株式会社
下垣内 慎典 氏



進行役：東海旅客鉄道株式会社
佐藤 元宣 氏



進行役：三菱食品株式会社
桑原 健太郎 氏

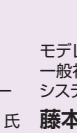
JUAS クローズアップセッション

クラウド・パッケージ・アジャイル時代に欠かせないソフトウェア生産性・品質指標
会場 ② 平 安

現代のシステム開発は、クラウド・パッケージ・アジャイルが当たり前の時代へ。この新環境に適した生産性・品質メトリクスの整備は、多くの企業で未開拓か発展途上の段階にあります。本講演では、昨年度の調査で得た開発を成功に導くノウハウを振り返りつつ、企業が今こそ注目すべきメトリクスを導入事例とともに紹介します。



JUAS ソフトウェア・メトリックス調査プロジェクト
講演者：シフト&シナジー
大熊 真次郎 氏



モデレーター：一般社団法人 日本情報システム・ユーザー協会
藤本 礼久 氏

スクエア事例セッション

大企業とスタートアップ、両方の病を越えて、IT を武器にする経営の作法
会場 ③ 白 風

DX 銘柄・製造業トップランナーである大手飲料メーカーにて、「IT はコスト部門」という大企業病と闘い、IT 予算を数倍に拡大。レガシーからモダンへの全社変革を主導してきました。現在は SMBC にて新銀行設立準備に従事するが、スタートアップを含む多くの現場で「テックにこだわらずに」逆の病も目の当たりにしてきました。両極端を経験した立場から、AI を含むデジタルを事業の武器にする「変革の設計論」を実践ベースで語ります。



講演者：株式会社三井住友銀行
清水 博 氏



モデレーター：JUAS AI エージェント・マネジメント研究会
TDC ソフト株式会社
近正 和也 氏

フォーラムセッション

【IT グループ会社の本音】AI 活用のリアル～PoC の壁、組織変革、そして未来～
会場 ⑤ 桃山 A

生成 AI/AI 駆動開発の波が押し寄せる中、IT グループ会社はどう舵を切っているのでしょうか。IT グループ会社経営フォーラム」のメンバーが直面している、AI 活用のリアルな現在地を明かします。成功事例に留まらず、推進体制の壁や投資対効果への苦悩など、表舞台では語られない「綺麗事なしの本音」をもとに、これからのように新たな価値を創造していくについて、会場の皆様と一緒に考えていきます。



進行役：ANA システムズ株式会社
今井 幸次 氏



進行役：株式会社関電システムズ
小野 哲哉 氏



進行役：JFE システムズ株式会社
渡邊 崇 氏

生成 AI を「点から面へ」――業務実装と全社展開のリアル
会場 ⑥ 桃山 B

生成 AI は PoC や個別活用の段階を超え、企業の業務や意思決定に組み込むフェーズへと移行しています。本セッションでは、各社の実践事例をもとに、AI 活用を組織的に広げるための推進体制、業務への具体的な組み込み方、品質確保に加え、AI 特有のリスクに対応するセキュリティ対策やガバナンス整備、人材育成といったテーマを横断的に解説します。実運用を通じて見えてきた成功要因と課題を明らかにし、持続的かつ安全な AI 活用に向けた実践的な示唆を提示します。



進行役：株式会社ノーリツ
三和 敏幸 氏



進行役：関西電力株式会社
梅本 潤 氏



進行役：大和ハウス工業株式会社
福嶋 健 氏

12:30▶18:15 事前予約枠: ① 12:55～ ② 13:25～ ③ 14:45～ ④ 15:35～ ⑤ 16:20～ ⑥ 17:05～ ※各回 20 分程度 ブースセッション

AI エージェント時代のインフラ構築：Twilio で実現する「途切れない顧客体験」
B-1 B1F ロビー



Twilio Japan 合同会社
永井 慧 氏



Twilio Japan 合同会社
中村 光晴 氏

AI の自律化が進む中、多くの企業が「チャネル分断による文脈（コンテキスト）の喪失」という技術負債に直面しています。データ収集接点等の変更に伴い、AI との接点で文脈が途切れることにより、LLM のトークン投資やデータ統合の成果が活かせない状態が発生しています。本セッションでは、Twilio が発表したコンテキストをインフラレベルで維持する新会話レイヤーを解説。AI と人の協調を最適化し、ビジネス価値へ直結する実践的な戦略を提示します。

AI 時代の「攻め」と「守り」を両立するデータ戦略 ～Cisco と Splunk が実現する、ビジネスレジリエンス強化～
B-2 B1F ロビー



Splunk Services Japan 合同会社

AI の活用はビジネスの高度化・迅速化を加速させる一方、セキュリティリスクも増大させています。本セッションでは、AI と人が協業する「Agentic SOC」の重要性を説きます。データ集約基盤「Cisco Data Fabric」を軸に、Splunk を活用した実践的なデータ戦略を解説します。AI の活用により、攻めと守りを両立し、企業のデジタルレジリエンスを強化する次世代のデータ活用術をお伝えします。

18:35▶19:35 ネットワーキングパーティ K-5 センチュールーム

ドリンクスポンサー

- アサヒビジネスソリューションズ株式会社
 - カゴメ株式会社
 - キッコーマン株式会社
 - 麒麟ビジネスシステム株式会社
- サッポロビール株式会社
 - サントリーホールディングス株式会社
 - 田辺ファーマ株式会社
 - 森永乳業株式会社

(50 音順)